

サルビアねっと登録1万人突破

患者情報、ICTで共有



サルビアねっとの仕組み

鶴見区でスタート、神奈川区にも展開

鶴見区と神奈川区の医療・介護機関などが情報通信技術（ICT）を使って患者情報を共有する「サルビアねっと」の登録者数が、運用開始から2年半で1万人を超えた。

「2025問題」解消に

サルビアねっとは、電子カルテ情報や薬の処方歴、検査結果などをICTによって共有するネットワークシステム。患者1人に対し、医師や福祉関連などの多職種が包括的に連携しながら見守る仕組みだ。団塊の世代が

後期高齢者となる「2025年問題」の対策として、2019年に市が公表したICT活用の地域医療介護連携ネットワーク構築ガイドラインに基づき鶴見区で始まった。

総務省の補助金を得て鶴見区の済生会横浜市東部病院や医師会、歯科医師会、薬剤師会などで構成されるサルビアねっと協議会が主体となって運営し、昨年には神奈川県

の補助事業に採択されて神奈川区にもエリアを拡大。同区の医師会からも協議会に加わった。個人情報を取り扱った

め、利用には患者、施設側共に登録が必須となる。11月26日現在の登録者は1万1461人、参加施設数は113件。共に数が増えるほどメリットが大きいため、参加施設や医師らが患者一人一人に利用を勧奨するなど地道な活動

を続けている。

施設は有償、課題も

昨年11月にはスマートフォンからの患者登録機能を拡充。東部病院の外来予約サービスも稼働した。これにより、紹介状をもらい電話などでの予約が不要となった上、検査結果を共有し、早期に適切な対応へつなげることも可能とした。現在他の病院に展開するため準備中という。

一方で、患者の登録は無料だが施設側はシステム維持などのために登録料がかかり、補助金で賄う導入費が高いなど課題は多い。同協議会の理事として開始当初から参加する鶴見区医師会の芝山幸久会長は、「今後、災害やパンデミックの際にも役立つ。時間はかかるが、良さを感じるまで拡大させなければ」と話している。



サルビアねっとホームページ

サルビアねっとのご案内

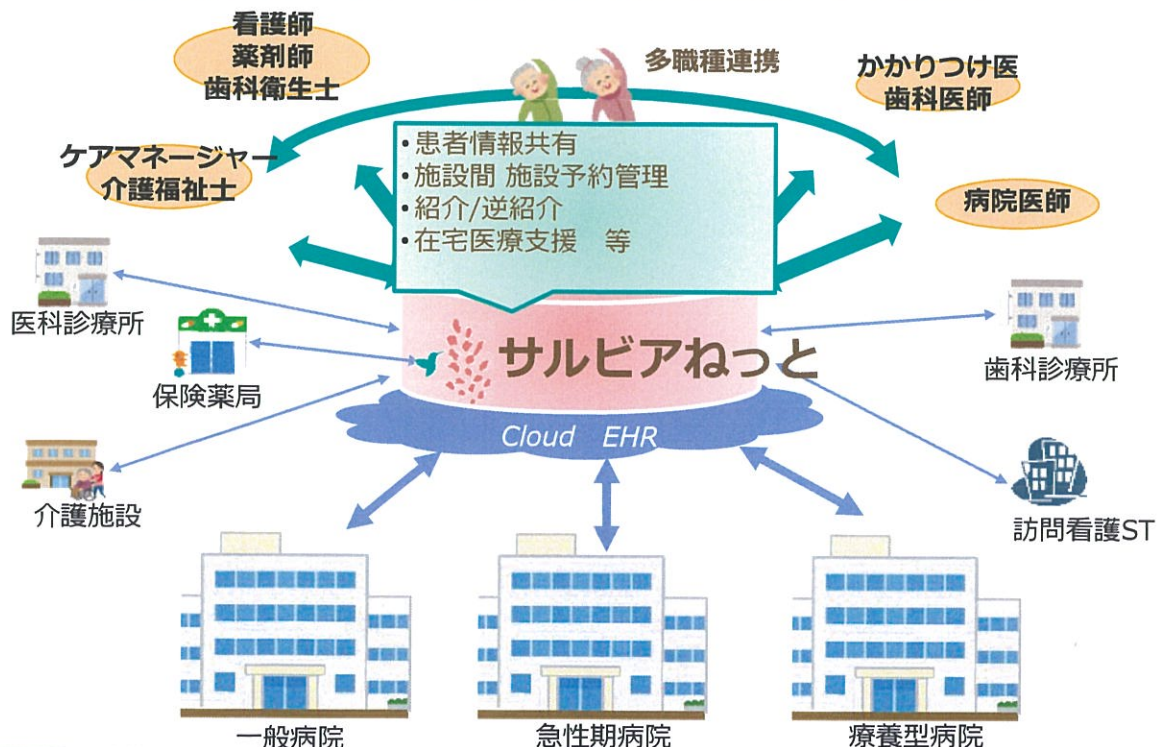


一般社団法人サルビアねっと協議会

© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.

「サルビアねっと」とは？

情報提供同意を頂いた住民の医療/介護情報を、医療機関や介護事業所が共有できるクラウド型情報連携ツールであり、住民の生活を医療/介護の面から支える取り組みです。～現在稼働している唯一の都市型医療介護連携ネットワーク



© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.



「サルビアねっと」の始まりは？

平成30年度の、横浜市医療局「横浜市EHR構築支援補助事業の交付対象事業」を済生会横浜市東部病院より申請し、採択されました。



平成30年度予算「情報通信技術利活用事業費補助金（地域IoT実装推進事業）」も、採択されました。



鶴見区からはじまった「サルビアねっと」は、令和2年度になり神奈川県補助事業として採択され、神奈川区へと広がりました。

© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.



住民同意取得者

2021年11月11日現在 11,375人

住所地：鶴見区・神奈川区・港北区・川崎市

同意患者が多ければ多いほど
参照数が多くなり、参加施設の
利便性が向上します。
すなわち、同意患者を増やすことが
重要です。

© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.





病院	:	9
医科診療所	:	38
歯科診療所	:	5
薬局	:	45
訪問看護ステーション	:	7
介護施設	:	9

合計113施設※が参加しています!

※2021年3月31日時点

© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.

どんな情報が見られるか～実際の画面イメージ

患者情報を共有することで、病院に来院される前の患者情報（診療履歴・既往歴等）を把握でき、紹介・逆紹介も行うことができます。また、自施設情報だけでなく、他施設の病名、処方、検査結果などの情報を把握することができます。

患者個人毎の医療情報統合画面

患者/利用者番号 00001/1 連携ID MC00000000001
 ツルミ タロウ
 鶴見 太郎
 生年月日 | 1946(昭和21)年03月04日(72歳10ヶ月)

医療統合・医療統合画面 一覧 施設能力 連携バス 退院時サマリ 訪問看護計画 紹介状作成 受取紹介状 紹介状履歴 予約 空床予約 認知症診断 住民詳細 SS-MIX2出力

検索条件
 表示期間 2019/02/03 表示施設 5項目選択中 レセプト削除データ 表示する

表示医療情報 主訴 病名 処方 注射 検査結果 検査画像 処置 手術 バイタル 看護 診療記録

患者情報一覧

日付	施設 診療科	主訴	病名	処方	注射	検査結果	検査画像	処置	手術	バイタル	看護	診療記録
2019年 01月10日	デモ-済生会 横浜東部病院		?]病名不明			検査結果 検査結果						
2018年 12月10日	デモ-汐田総 合病院		?]病名不明									
2018年 11月23日	デモ-サルビ ア門前薬局		?]病名不明	処方								

項目をクリックすると
詳細画面に遷移します

処方詳細画面

検査画像画面

© 2021 一般社団法人サルビアねっと協議会 All rights reserved.

どんな情報が見られるか～実際の画面イメージ



患者情報を共有するだけでなく、サルビアねっとに参加する医療従事者や介護従事者の間で、チャットのようにコミュニケーションを図ることができます。その際、下図のように医療情報を参照しながらチャットをすることも可能です。

上段：医療情報表示
下段：チャット
という画面設定により議論を行いながらも、普段通りに機能を利用することができます。

書き込み領域は自由に大きさを変更できます。会話を追いたい場合に全画面に即座に切り替えることも可能です。



7

どんな情報が見られるか～実際の画面イメージ



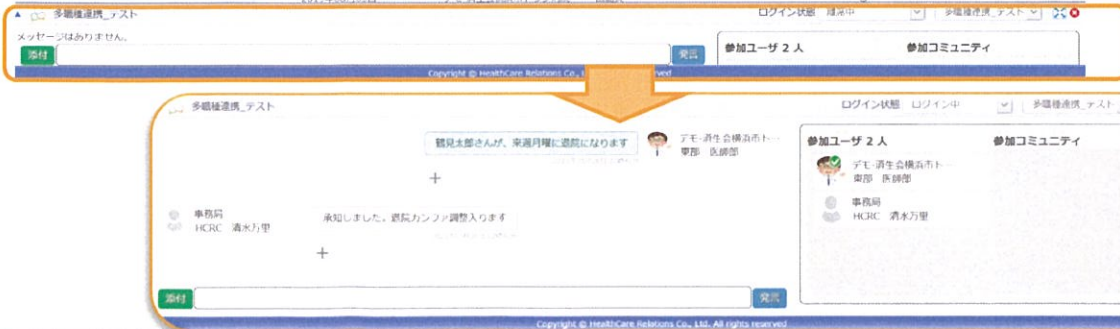
多職種ポータル利用

3 末に機能をリリースした「多職種ポータル(イエローノート電子化)」を、〈介護関係者参照モデル〉に利用検討：



←患者概要、処方/病名/検査値概要まで共有

←情報をインプット



8

どんな情報が見られるのか（取得情報詳細の例）



各システムから取得する情報項目は下記の通りです。医療機関ごとに「サルビアねっと」で開示する情報項目をご相談の上、決定します。

対象システム (ファイル形式)	医療情報										患者プロフィール							介護記録			
	病名	処方	注射	検体検査	検査画像	心電図	処置	手術	サマリ	アレルギー	禁忌薬	薬の副作用	身体情報	血液型	感染症	既往歴	家族歴	入院歴	ADL	バイタル	その他
電子カルテ (SS-MIX2、その他)	●	※4 ▲		●					※1 ●	●	●	●	●	●	●	●	●				
医科・歯科レセコン (UKE)	●	▲	●				●	●										●			
PACS (検査画像) (DICOM、その他)					●2				●												
外注検査 (独自ファイル)				●																	
調剤レセコン (NSIPS)		●																			
介護システム (独自ファイル)																					※3

※1 サマリについては、入退院サマリ、看護サマリについての連携は各病院単位で調整します。

※2 心電図について、現在の参加施設では連携していません。

※3 介護記録については、システムごとに連携可能な範囲が異なるため、ベンダー調査後に連携項目を決定していきます。

※4 薬局以外の処方については院内処方のみ連携します。